2024年4月号

おきなわ 仕事と介護両立サポート協同組合 通信

こんにちは。代表理事の大城です。

新年度が始まりました😊皆さまいかがお過ごしでしょうか。我が家では、小学生・中学生組の保健調査票や家庭調査票などの記入に追われています。普段、パソコン作業ばかりでペンを持つ機会が少なくなっている私としては、なかなか大変な作業だと感じつつも楽しんでいます。

今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

経営者向け 仕事と介護の両立支援に関するガイドライン 策定されました

少子高齢化が進む超高齢社会の日本において、介護しながら働く人の数は年々増加傾向にあります。

経済産業によると、介護しながら働くビジネスケアラーは**2030**年時点では約**318**万人（労働力人口の**21**人に**1**人相当）に上り、経済損失額は約**9**兆円と試算されています。また、介護の問題は社会経済的損失にとどまらず、家族介護を抱える個人の心身に大きな負担を及ぼすことが懸念されています。

このような理由から**2024**年**3**月**26**日経済産業省より「仕事と介護の両立支援に関する経営者向けガイドライン」が発表されました。企業が「仕事と家族介護が両立できる環境」を整備し支援することで、従業員は安心して働き続けることができ、企業の人的資本経営の実現、人材不足に対するリスクマネジメントに有効とされています。

早速ガイドラインをチェックしてみましょう☺

全企業が取り組むべき事項

STEP 1 経営層のコミットメント
仕事と介護の両立支援において全社的に取り組む意向を示す

- ☑ **経営者自身が知る**
  「介護」を知り、企業活動への影響の可能性を認識しているか?
- ☑ **経営者からのメッセージ発信**
  仕事と介護の両立施策推進に向けて、ポリシーを発信しているか?
- ☑ **推進体制の整備**
  担当役員設置／担当者の指名、管理職層の巻き込みができているか?

STEP 2 実態の把握と対応
組織内での仕事と介護の両立における影響・リスクを把握

- ☑ **アンケート・聴取**
  社内の介護に関する状況をしっかりと把握できているか?
- ☑ **人材戦略の具体化**
  介護を行う従業員が活躍できるよう人材戦略を設計できているか?
- ☑ **適切な指標の設定**
  仕事と介護の両立支援に関して適切な指標を設定できているか?

STEP 3 情報発信
企業がプッシュ型の情報発信を行うことで、従業員個人の将来的なリスクを低減

- ☑ **基礎情報の提供**
  介護保険制度などの基礎情報をプッシュ型で提供できているか?
- ☑ **研修の実施**
  全社員向けにリテラシー向上の研修や管理職向けの両立支援推進に関する研修の機会を提供できているか?
- ☑ **相談先の明示**
  社内での相談先・プロセスを社員向けに明示的に伝えられているか?

＋ **企業独自の取組の充実**
企業の実情・リソースに応じて検討・実施
※自社単体で実施が困難な場合は、外部リソースの活用も検討

- ☑ **人事労務制度の充実**
  法定義務を超えた柔軟な働き方の推進、福利厚生による経済的な支援 等
- ☑ **個別相談の充実**
  外部の専門家設置、1on1、人事部・管理職との三者面談　等
- ☑ **コミュニティ形成**
  精神的負担を軽減するため、介護経験者同士による対話の場づくり 等
- ☑ **効果検証**
  各施策の実施効果について、KPI達成状況等を踏まえた検証

外部との対話・接続により、両立支援を促進

- **外部への発信と対話による企業価値向上**
  顧客・投資家・従業員家族・将来の従業員候補等のステークホルダーへの発信と対話
- **地域と連携した両立体制構築**
  自治体や企業等が提供する介護資源へのアクセス

知り、備え、実践できる

引き続きサポートいたします。
お気軽にご相談ください。

①介護に関する情報
昨今の介護事情、介護平均年数、かかる費用、使える介護サービス等などを知る。

②仕事と介護に関するアンケート
仕事と介護の両立に関して不安に思うこと、望む働き方などを知り、社内制度設計などの取り組みへ。

③勉強会
アンケートの結果を踏まえて勉強会の内容をカスタマイズ。

④個別面談
家庭により介護状況は様々。一つでも多くの選択肢の中から、ベストな選択をサポート。その他、育児と仕事、治療と仕事など働き方などの相談も可。

おきなわ仕事と介護両立サポート協同組合　e-mail：info@okinawa-shigotokaigo.com
〒904-2171沖縄県沖縄市胡屋７－４－５　☎098-800-2839　FAX098-800-2842